



生徒会活動を更に活発に！

校長 中山 徹

9月25日(月)に生徒会役員選挙立会演説会がありました。

言うまでもなく、この演説会は、「豊玉第二中生徒の代表者である生徒会役員」を選ぶために行われたものです。

今年度は5人の立候補者が出ました。

立候補者は、演説原稿の作成など、準備がとにかく大変だったことと思います。自分の考えを文章にまとめる様々な工夫が必要です。相手に理解してもらうために、どう伝えていったらよいか悩み、苦労したことと思います。



当日舞台上でそれぞれが演説を行いました。かなり緊張したのではないのでしょうか。大勢の人の前で話をするとき、大きなプレッシャーがかかります。またそのプレッシャーに堪える忍耐力も必要だったわけで、気力、そして体力も使ったことと思います。

立候補者の5人は、表現の仕方に違いはありますが、それぞれ自分の考えをしっかりと述べる事ができていたと思います。とても頼もしく思いました。

また「応援演説」をしてくれた生徒たちも、立候補者の力になりたいという「気持ち」を言葉や態度にのせて、(これまた、かなり緊張しながらですが)よく頑張ったと思います。

今回の生徒会役員選挙は、立候補者が定数を上回っていないので、信任投票となりました。演説を聴いて、「この5人に豊玉二中の生徒会を任せても大丈夫だな。」という感触をもちました。

生徒たちには、演説会の最後の「校長講評」の中で、「当選を決めるのは、あくまで皆さんの一票一票です。今日の演説を聴いて、1人1人が、しっかり判断をして、票を投じてください。責任ある投票をよろしくお願いします。そして、大切なことは、自分たちで選んだ生徒会役員を、皆さんの力で盛り立てて、生徒会活動を更に活発にしていくことです。」と私から強調しました。

投票結果は、もちろん、5名全員が信任されました。

今年度は、生活美化委員会による「小中合同挨拶運動」の取組が始まりました。これまで「豊玉二中の先輩たち」が成果を積み重ねてきた生徒会活動・委員会活動に、新たな流れが加えられました。

立候補者からは、「豊玉二中の伝統である『挨拶』をもっと活発にしたい。」「SNS豊二中ルールをもっと実効性のあるものにするため、新たな取組を行いたい。」「『意見箱』を活用し、より良い学校環境をつくりたい。」と具体的な目標が示されていました。是非、様々な工夫を重ね、それらのことを実現、実践して行ってください。

大いに期待しています。